

# メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.225 2017.10.27

## 県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」 10月22日(日曜日)放送分「常任委員会だより2」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」では、県議会に関するさまざまな情報をお伝えしています。

今号のメルマガでは、ご覧になれなかった方のために、22日に放送した「常任委員会だより2」の内容をお伝えします。

明後日29日(日曜日)には「9月定例会ダイジェスト」が放送され、審議結果や各会派の振り返りなど、定例会についてダイジェストでご紹介します。プレゼントコーナーもありますので、ぜひご覧ください！



【放送時間】テレビ埼玉 日曜日 朝10時～

[☆詳しい放送スケジュールはこちら](#)

### INDEX



#### 県議会広報

こんにちは県議会です  
「常任委員会だより2」

- ・環境農林委員会
- ・産業労働企業委員会
- ・文教委員会
- ・警察危機管理防災委員会



#### 議事堂の花

生け花のご紹介



### 県議会広報

【こんにちは県議会です】「常任委員会だより2」

## ◆環境農林委員会 岡地 優 委員長

環境農林委員会は、環境部、農林部、内水面漁場管理委員会に関する事柄を所管し、環境保全対策の推進、廃棄物対策、地球環境の保全の推進、農林水産業の振興、農林水産物の品質や安全性の確保などについて審査を行います。

— まず、環境分野について、委員長のお考えをお聞かせください。—

委員長 はい。省エネやクリーンエネルギーは大変注目度の高い分野です。電気自動車やハイブリッド自動車、燃料電池自動車の普及を引き続き支援していきたいと考えています。



特に、水素をエネルギーとする燃料電池自動車は、二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい次世代自動車です。今年9月に、県内で燃料電池バスの試乗会が開催されました。通常のディーゼルバスより、静粛性や加速性も優れているそうです。県としては、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの観客輸送手段の一つとして、活用に向けて取り組んでおります。クリーンな環境の埼玉県へ、ぜひ多くの方に訪れていただきたいです。

— 次に農林分野についてはいかがでしょうか。—

委員長 はい。農業分野は、県民生活に欠かすことのできない食につながる重要な役割を持っています。地域で取れた農産物は、新鮮で安全・安心です。

しかし、農業に就いている方の高齢化や後継者不足などにより、生産者が減少しています。今後は、新たな就農者を確保・育成するための体制を整えるなど、埼玉農業の将来を担う人材の育成に力を入れていくことが重要だと考えています。

また、森林の整備や保全、県産木材の利用促進といった林業の振興についても進め、豊かで安らぎある県民生活の実現に取り組んでいきたいと思っております。

— 最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 はい。環境行政も農林行政も、本県が将来にわたって持続的に発展していくためには非常に重要です。委員一同、全力で取り組んでまいります。

## ◆産業労働企業委員会 立石 泰広 委員長

産業労働企業委員会は、産業労働部、企業局、労働委員会に関する事柄を所管し、労働条件の向上、雇用対策の推進、商工業の振興、中小企業金融対策、観光資源の利用促進、水道事業などについて審査を行います。

— まず、企業支援について具体的にはどのような支援をお考えでしょうか。—

委員長 はい。まずは、県内企業の99%を占める中小企業の支援です。県には中小企業の方々が必要な資金を円滑に調達するための制度融資があります。必要な企業に制度を活用していただくことが大切ですが、使い勝手が良くないという声も聞かれます。地域を支えている企業の皆さんの声をお聞きし、使いやすく幅広い、さらに分かりやすい資金調達の支援に取り組んでいきたいと考えています。



— 雇用対策にも力を入れていきたいとのことですね。—

委員長 はい。—昨年10月に、圏央道の県内区間が全線開通しました。圏央道周辺の産業基盤整備を進め、企業の本社や工場を誘致する支援策を展開したいと考えています。

企業誘致は雇用の創出や地域の活性化につながります。県内の充実した高速道路網の地の利を得て、雇用の促進を図ってまいりたいと思います。

— 雇用と言うと、最近は元気なシニアの活躍も期待されていますね。—

委員長 はい。これから高齢化が進みます。70歳になっても会社を退職しないで働き続けられるように定年の廃止や引き上げを行うなど、元気なシニアが意欲や希望に合わせて働き続けられるような雇用制度の支援が大切です。

— 観光の推進についてはいかがでしょうか。—

委員長 はい。交通の要衝であるJR大宮駅は、北関東の玄関口です。県外の観光客を呼び込むには、大宮駅から川越や岩槻への東西交通を活かした観光ルートの政策が重要になると思います。川越から秩父や長瀨地域を回って観光するなど滞在時間を長くし、宿泊客を増やし、埼玉の観光の魅力を高めていきたいと思っています。

— 最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 はい。県民の皆さまの生活の基盤である雇用の確保と、県内企業を支援する政策をより一層推進していきたいと思っています。地域経済の活性化から、埼玉県がもっと元気になるよう、全力で取り組んでまいります。

◆文教委員会 伊藤 雅俊 委員長

文教委員会は、教育委員会に関する事柄を所管し、義務教育、高等学校教育や特別支援教育の充実、生涯学習の推進や文化財の保護など

について審査を行います。

— まず、教育についてどのような考えをお持ちですか。—

**委員長** はい。「読み」「書き」「そろばん」と言いますが、学力向上のためにも、まずはそうした基本を身に付けることが大事です。また、その一方で、正解のない課題に対して深く考え、追究していくことも大切だと思います。



学校と家庭、地域では、それぞれ教育の役割は異なりますが、学校教育の役割は、「将来何をするのか」ということを見つけられるようにすることだと思います。

そして、学校教育の充実だけでなく、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援や、地域の企業訪問による社会体験、地域の多様な人材による個人指導などを通じて、学校と家庭、地域という三者の連携を図ることがとても重要であると考えています。

— 国際教育についてはいかがでしょうか。—

**委員長** はい。国際社会において主体的に行動できる人材の育成が必要です。

海外に留学すると日本の良さを再発見できます。また、特に東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、海外から来る選手や観光客へのボランティア活動に参加するためにも英語教育は良いことだと思います。

しかし、まずは英語教育よりも、国語や歴史などで自分たちの国や地域のことを理解して、すべての知的活動の基盤となる日本語をしっかりと身に付けることが大切だと思います。

自分たちの国のことをしっかりと理解した上で、国際社会で活躍してほしいと思っています。

— 自分の国を理解することは、異文化を理解する力にもなりますよね。他にはいかがでしょうか。—

**委員長** はい。私は中学の社会の教員資格と、高校は公民と地理歴史の教員資格を持っています。最近、選挙の話題がよく取り上げられています。特に、公民という科目はまさに私たちが生きていく社会生活そのものです。他の教科より学ぶ時間は少ないかもしれませんが、ぜひ関心を持ってしっかりと身に付けてほしいと思います。

— 今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

**委員長** はい。教育は生きていく上で根幹となるものです。変化の激しい社会を将来を担っていく子どもたちが主体的に生き抜いていけるよう、一人ひとりに応じた教育の推進に取り組んでいきたいと思っています。

## ◆警察危機管理防災委員会 新井 一徳 委員長

警察危機管理防災委員会は、公安委員会、危機管理防災部に関する事柄を所管し、警察行政の総合的企画や調整、交通指導取り締まり、消防や防災、危機管理の強化などについて審査を行います。

— まず、警察分野についてですが、現在、重点的に取り組まれている課題は何でしょうか。—

委員長 何といっても、振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺の撲滅です。高齢の女性などを狙った特殊詐欺が後を絶たず、近年、悪質かつ巧妙化しています。未然防止が最も大切だと考えておりますので、金融機関やコンビニエンスストアなどと連携した水際対策や、コールセンターによる県民への注意喚起に、より一層力を注ぐ必要があると考えています。



— 今年は、3月に交通死亡事故が多発しましたね。—

委員長 はい。そのため、3月に上田清司県知事による緊急メッセージが県民向けに出されました。今年は、歩行中の高齢者が被害に遭う事故が増加しており、警察本部には、交通事故が多発する交差点での街頭活動などに取り組んでいただいています。地域全体で交通ルールをしっかりと守るという機運を醸成していく必要性を感じています。

— 続いて、危機管理の分野については、いかがでしょうか。—

委員長 はい。火災への備えが大切だと考えています。昨年12月、新潟県糸魚川市の古い木造住宅が密集する地域で火災があり、建築物は約150棟が焼け、鎮火までに約30時間を要しました。

今後、急速な高齢化時代を迎え、空き家なども増えることが想定されますので、火災への備えは急務です。本県には古い木造住宅の密集地がどのくらい存在するのかを把握するとともに、火災が発生した場合に被害を最小限に抑えるための火災防御計画を速やかに策定するべきと考えます。

— 最後に今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

委員長 はい。私どもの委員会は、県民の暮らしや命をしっかりと守るという気概をもって、喫緊のさまざまな課題解決に全力投球します。

また、地域一丸となって、事件や事故、災害に対処できるように、県民の皆さまの絆をより一層深める取り組みをしていきたいと考えています。





## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。  
【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間:

10月2日  
～10月6日

作者:

勅使河原和風  
会

富山雪庭様

花材:

竹、スズバラ、  
ノリウツギ、  
菊、アルストロ  
メリア、ユキヤ  
ナギ、ハラン

### ◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈勅使河原和風会 富山雪庭様〉

Q: 作品のテーマを教えてください。

A: 「秋の風情」です。赤色の果実が付いたスズバラや、紅葉を連想させるように葉を赤く色付けたユキヤナギなど、暖色を中心にする事で“秋らしさ”を感じられるようにしました。また、白色のノリウツギも生け込むことで、より一層暖色が映えるようにしました。

Q: 開いた竹がとても印象的ですね。

A: 竹を縦に切り、花のように開くことで生まれる外側の青竹色と内側の白色の対比や華やかさなど、「竹の美しさ」を作品のもう一つのテーマにしました。花器を二つ使用し(複体)、その間に開いた竹を配置することで作品全体のバランスを意識しました。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。≫

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから ≫](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923



Copyright 2008. Saitama Prefectural Assembly 無断転載を禁じます。